

まき 報 廣

1978

8/25

第298号

発行/新潟県巻町

編集/企画課

毎月10日・25日発行

1部10円

お母さんカンパレ!

ゴールは目前!

巻地区町民運動会



八月二日(日)、巻中グラウンドで巻地区の町民運動会が行われました。

炎天下、子供からお年寄りまで約四千人が参加し、八チームに別れて、仕度競争、雲助リレーなど、ユーモラスな三十三種目の競技に熱戦をくりひろげ、楽しい夏の日をすごしました。

優賞は青組(十一区、十二区、中郷屋、葉萱場)、二位桃組(一区、下和納、安尻、湯頭)、三位白組(六区、東六区)でした。

体温計

食中毒予防のポイント

毎年、七月から九月までの間が食中毒の最盛期です。高温多湿という環境のため細菌の増殖が盛んになるからです。食中毒の原因で第一位は、海産物についている腸炎ビブリオ菌(真水に弱い)第二位はブドウ球菌で化膿菌です。手指のケガ、指ばれ、手の水虫などから食品が汚染されたり、ハエ、ゴキブリ、ネズミなどからも媒介します。予防するには……

- ① 魚介類は必ず真水で十分洗って冷蔵庫に入れること。
- ② 海産物を切ったまな板、包丁は必ず真水で洗うこと。
- ③ 夏・初秋の間は生で魚介類を食べないで、必ず熱を通すこと。
- ④ 魚介類をにぎった手は真水でよく洗うこと。
- ⑤ 料理は長く食卓に出しておかないこと。
- ⑥ 肉、玉子など十分熱を通すこと。
- ⑦ 食べる直前に調理すること。すぐ食べれない時は冷蔵庫に入れて菌の繁殖をおさえる。
- ⑧ 常にまな板、包丁、フキンなどはよく洗い、熱湯をかけ、日光消毒等し清潔を保つこと。
- ⑨ 暴飲・暴食を避け、十分睡眠をとるなど健康に留意すること。

大型車 進入禁止

漆山市街地に

9月1日から

巻警察署では、北陸自動車道の開通に伴う一部交通規制を9月1日より実施します。

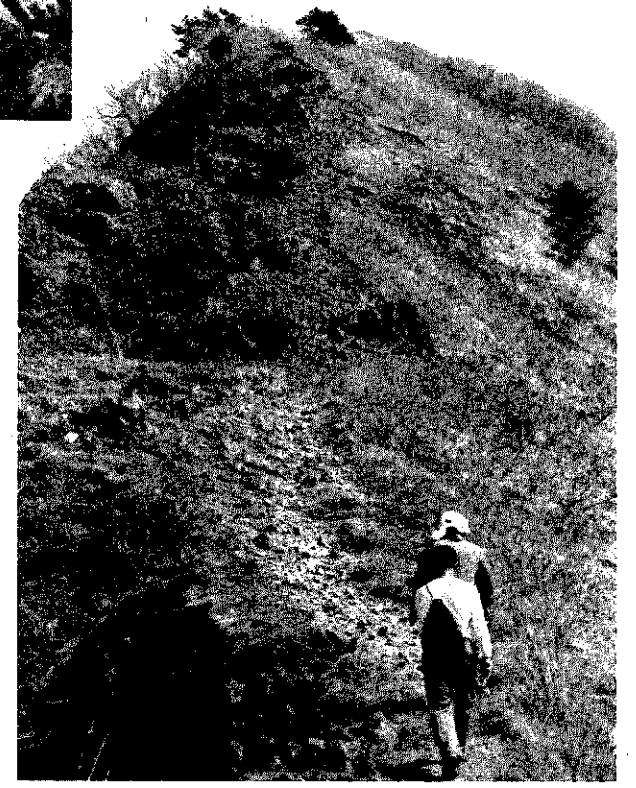
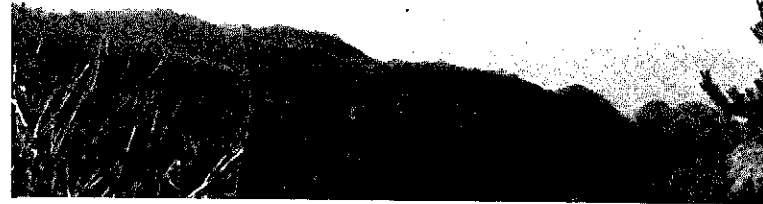
この規制により、県道巻・白根線の漆山市街地には、大型・大型特殊車が通行できなくなります。

大型車を運転される方は、県道白根・間瀬線か、県道白根・西川線を迂回していただくこととなりますのでご注意ください。なお、巻警察署と巻地区交通安全協会は、全戸に配布し、交通事故の防止を呼びかけています。

整備工事 始まる

角田登山歩道・灯台コース

10月末に完成予定



角田登山歩道改修事業が始まりました。総事業費は三百万円、町と県とが半分づつ工事費を出し合い、それぞれの単独事業として工事が進められ、完成予定は10月末です。今回、改修工事が行われるところは、灯台コースで、整備されていない区間約二百メートル、灯台の展望台の柵と床面の整備、さらに灯台下トンネル内の歩道のかさ上げを行います。

灯台コースは、海と山の変化に富んだ立休美が楽しめるため、春秋の登山シーズンには、ハイキングや、県内の小・中学校の多くが遠足でおとずれています。灯台コースの全長は、角田埼灯台から三望平分岐点まで約二千四百メートル、山肌が急で雨天時にはすべりやすい箇所や、足場の悪い岩場などがあつて、小学校の低学年には不向きとされてきました。

プラスチック製擬木を採用

階段の造成には、従来のコンクリート製擬木にかわって、廃棄プラスチックを再生利用して作られた擬木（ポリプロピレン十ポリエチレン各五十割）が使用されます。このプラスチック製擬木は、コンクリート製擬木にくらべ、施工価格が三分の一で済み、重量も四分の一（一本約五キロ）ですから山への運搬と施工作業がずいぶん楽になります。

移動交通事故 相談所の開設

角田浜のトンネル内の遊歩道は排水が悪いため、歩道に水があがり、観光客に不快感をあたえるので、今回コンクリートでかさ上げをし、排水処理の整備を行います。

灯台の展望台防護柵改修

灯台コースの起点でもあり、角田埼のシンボルでもある灯台。この展望台は、海岸風景、遠くは佐渡を一望できるため、登山者、ハイカー、海水浴客などの利用者が年々増えています。この展望台西側の防護柵が、潮風で腐蝕がいちぢるしく危険なため、今回改修するものです。

移動交通事故 相談所の開設

県と町では、不幸にして事故に合わせた方々の苦しみや悩み事を解決するために、交通相談所を次により開設します。皆さんの中でどうも「示談」がうまくいかない、などで悩んでおられる方はこの機会にご相談を。相談内容の秘密は守られ無料です。

就任のごあいさつ

巻町長 高野幹二



このたび、町民の皆さまのご支援をいただきまして、巻町長の要職につくことになりましたことは、私の身に余る光栄でありまして、衷心から感謝感激をいたしている次第でございます。

同時に、その責任の重大さを考えるとき、身の引き締まる思いでございます。私は、もとより、自らの浅学菲才を省み、内心じくじたるものがございますが、正義を貫くという

信念は、誰にも負けないと自負しております。これからも、初心を忘れることなく、町民の皆さまがたの厚きご支援とご鞭撻によりまして、全町民に幸福をもたらす町政の実現に懸命の努力を傾倒して、ご信頼におこたえ申し上げる所存でございます。

地方自治法施行以来三十一年、わが巻町は町政の発展と町民の福祉増進を目ざして、堅実な歩みを続けてまいりましたが、目下当面する行財政には、なお幾多の重要案件が山積いたしました。この解決には、今後一段の努力を要し、私の使命はいよいよ重大であると痛感するのであります。そこで、私は、二万八千町民の総意のもとで、六つのお約束を果たすことと存じます。

そして、その公約実行のためにも、是非とも町民の皆さま方の絶大なご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

成人式 大人の誓いも新に

成人式が八月十五日午前九時三十分から、巻北小体育館において行われました。

今年成人をむかえる若人は、三百六十二人（男百九十八人、女百七十二人）ですが、当日出席したのは二百五十三人。二十歳の記念として町から、あやめ塚出土の「だ竜鏡」を模した文鎮が贈られました。

式辞のあと、成人者を代表して斎藤達也さん（松野尾）が、「わたしたちは、郷土の美しい自然を愛し、よるこびや悲しみをともにし、豊かな愛情をもち勇気ある人となります。」と誓いのことばを述べました。



式典終了後、巻中吹奏楽部による演奏に耳をかたむけていました。

新潟県勤労者美術展

9月30日までに申込みを

第28回新潟県勤労者美術展が、次のとおり開催されます。

勤労者の皆さん、ふるって応募してください。

- ▶とき 10月26日から29日まで
- ▶ところ 県美術館（県民会館3階）
- ▶作品部門 日本画、洋画、彫塑、工芸、書、写真
- ▶応募資格 県内の事業所などに勤務し、応募作品についての製作を職業としない者
- ▶申込先 9月30日までに福対協巻・西蒲支所へ申込んでください。
- ▶② 6121



巻地区敬老会

- ▶とき 9月15日午前10時
- ▶ところ 町営体育館 (旧巻小)
- ▶アトラクション さざなみ会ほか...



9月8日 町内『施設めぐり』

町では恒例の「施設めぐり」を次のとおり行います。
 多数参加していただいて、皆さんの目でじかに町の行政を勉強してみませんか。
 ▶とき 9月8日(金)午前9時までに役場前集合、マイクロバス使用
 ▶見学場所 巻インターチェンジ、農業教育センター、消防署、郷土資料館、浄水場、焼却場、し尿処理場、妙有院、工業団地、病院、白寿荘
 ▶募集人員 23人(定員になり次第締め切らせていただきます。)
 ▶参加費 無料(昼食各自持参)
 ▶申込み 9月5日までに企画課へ申込んでください。
 なお、見学場所についての一部変更もあります。

9月5日~7日 心身障害者雇用促進展

労働省では、毎年9月を「心身障害者雇用促進月間」と定めて、心身障害のある人たちの就職が促進されるよう、各地でいろいろな行事を行っています。
 今年は、巻公共職業安定所内で、「心身障害者雇用促進展」を次のとおり開催しますので、多数ご来場ください。
 ▶とき 9月5日から7日までの午前8時30分から午後5時
 ▶ところ 巻公共職業安定所
 ▶内容 心身障害者の雇用の現状、各種援護制度の紹介、職業適性検査の実施、心身障害者の作品展示

巻南小に校旗を寄贈

—石田潮司郎さん(東京都)
 東京都大田区の石田潮司郎さん(69歳)が、巻南小学校の校旗一式を寄贈されました。
 8月17日、この贈呈式が行われ、石田さんの代理として義弟の中野文作さん(5区)が、町長に目録を手渡しました。
 石田さんは巻町10区の出身で、現在、日本鯉節協会理事長など多くの要職にあって活躍されています。
 町へはいままでも幾たびか寄付をされており、今回お盆で帰省された際、広報まきの南小の校章募集記事を読まれて、校旗を寄贈されたもので、募集中の南小校章の入選作が決まりしだい発注することになっています。



有害鳥類の駆除

水田と果樹園に、鳥類による被害が続出していますので、町と農協では、巻町猟友会(河治鶴松会長)に依頼し、巻町一円で有害鳥類の駆除を次のとおり行います。
 ▶期間 8月20日から9月8日の、午前5時から8時ころまで
 ▶対象鳥類 スズメ、ムクドリ

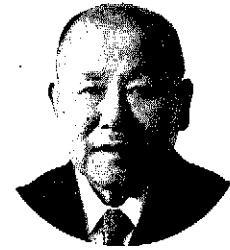
加入に絶好のチャンス 農業者年金制度が改正

農家の国民年金ともいわれる農業者年金制度は、被保険者に60歳から経営移譲年金が支給されるとともに、65歳以後は経営移譲年金の10分の1の額と合わせて、農業者老齢年金が支給される仕組みとなっています。
 町内でも、農業者年金への関心は高まり、加入する人も増えてきています。
 ところが、当然加入資格者でありながら加入できない年齢に達している人や、加入しても年金に結びつかない人が多いため、今回、農業者年金制度の一部改正が行われ、大正5年1月から昭和11年3月までに生まれたこれらの人を対象に、さかのぼって加入または保険料が納められるようになりました。
 二度と期待できない絶好の機会ですから、年金の受給資格を得られるよう、ぜひ加入の手続きをとりましょう。
 ▶納める保険料の額は
 未加入者(大正5年以降に生まれた人)や加入していたが未納分が時効となった人を対象に、昭和46年1月分までさかのぼって保険料が納められます。
 保険料の月額は、下表のとおりです。
 くわしいことは、農業委員会または農業協同組合にご照会ください。

特例納付額(時効未経過)	通常保険料の額(時効未経過又は納期未到来の期間)				
	昭和46.1~51.6月分	昭和51.7~52.12月分	昭和52.1~53.12月分	昭和53.1~54.1月分	昭和54.1月分
1月につき3,600円	1月につき1,650円	1月につき2,450円	1月につき2,870円	1月につき3,290円	1月につき3,290円

退任のごあいさつ

村松次一



このたび町長を辞任するにあたりまして、町民の皆さまに、一言ごあいさつを申し上げます。
 顧みまするに一期四年という私の在職期間は、まことに短い期間でありましたが、その間、私の信条といえました「硝子張り」と対

話の町政」は、終始力一ばい貫いてまいりました。
 私が就任いたしました年に、第一回目の移動役場を開催いたしました。各地域へ出向いて、町民の皆さま方の生の声を聞いた時、要望や不満の多いことに驚いたものでした。そして、それらはどれ一つを取っても急いでやらなければならぬものばかりでした。時は正に石油危機に始まった経済狂乱の時代を迎えたのであります。もちろん町の行政も逼迫されてきたことは、言うまでもありません。
 そういふ財政状況の中で、私は、町民の皆さまの要望を一つでも多く満たすためにそれこそ不眠不休の努力を重ねてまいりました。
 一つ一つが実現し、この昭和五十三年度に続きまして、昭和五十四年度で給仕上げとする目途がついたのであります。
 私は、皆さま方とお約束をいたしました案件の中で一部、果せなかつたものがありましたことは非常に心残りでございますが、町民の皆様方の寛大なるお心をもつてお許しをいただきたいと存じます。
 残暑厳しい今日この頃でありますが、町民の皆さまのご健康と、巻町の発展を心から祈念し、ごあいさついたします。

事業所統計調査まとまる

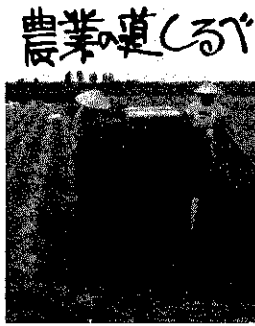
五十二年一、七一二事業所 「卸・小売業」が順調な伸び

六月十五日現在で、町内の全事業所を対象に実施された事業所統計調査の結果を、このほどまとめました。(町企画課集計)
 この調査は三年ごとに行われるもので、今回調査した結果、事業所数は、千七百二十二事業所で前回昭和五十年の調査にくらべ六十二事業所が増え、従業者数も九千四百八十八人となって七百九十八人増えています。
 事業所数で見ますと、「卸・小売業」が七百五十六事業所と一番多く、次いで「サービス業」、

事業所数及び従業者数

産業別	事業所数	従業者数
農業	6	156
建設業	286	1,621
製造業	184	2,611
卸売業・小売業	756	2,967
金融・保険業	20	282
不動産業	26	54
運輸・通信業	11	201
電気・ガス、水道、熱供給業	2	68
サービス業	421	1,458
合計	1,712	9,418

「建設業」、「製造業」の順となつています。
 これら主要四業種の中で、「卸・小売業」は五十二事業所(七・三割)増え、「サービス業」も二十七事業所(六・九割)増えています。また、「建設業」は十三事業所(四・三割)減っており、「製造業」は一事業所増にとどまっています。
 「卸・小売業」と「サービス業」が増えた主因としては、国道沿線に事業所が進出してきたことと、これは、巻町が新潟商圏の中でベントタウン化の傾向にあることと関係があるようです。
 また、「建設業」や「製造業」が伸びるやんでいる現象は、長期の低成長時代にあつて、産業の投資的な支出が押えられているためと思われま



農業

社会を指導する 農村に

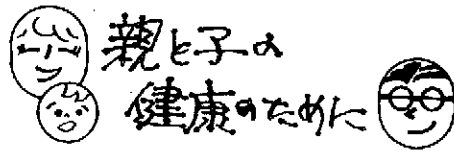
巻町農業振興協議会 西村欣策

同室した病友が、亡くなったことを知ったのはつらかった。
 戦地の話をよくしたその人は、最後に高熱にうなされて、死んでいったという。
 ところが、その後日の話を聞いて暗然とした。
 彼は、生命の保険を農協と会社に託していたというが、農協は香典を添えて、早速保険金を支払ってくれたが、保険会社は何かと難くせをつけて、支払いを渋ったという。

死んだ人のためにも、それを問題とすることを好まない家人は、泣き寝入りをしたという。
 詮索(せんさく)をすれば、契約の方法などという問題も残ろうが、こんなことを社会問題としてあつかえば、企業としては重大な

問題にもなる。
 ところが、最近の仙台沖地震での建物共済で、農協と会社の差が大きく報道され、農協の処置の適切さが喜びの声となっている。
 そして国は、共済事業を農協並みに動くように指導する、と報じていた。
 言ってみれば、農協が社会のしくみを指導したことになるのである。

その農協とは、農村人自身のことである。
 農村人が、自分たち自身の問題を適切に切り廻そうとするためにより合つてきた仲間作りが、農協である。
 そして、この理念が、農村にもっと強く徹底したら、現在の農村人の幸せは、まだまだ大きく展開するであろうことを、証明してくれたものであつた。
 いまでは、農村人を「うまく利用しよう」とする動きが、国中にばいである。
 たまたま、その中で、自分たちを守ることに気が付くのであるが農協も「スローガン」に、「原点復帰」を掲げている。
 みんなが、しっかりと団結すれば、農村人も社会を動かす、新しい社会作り、大きな力となり得ることを教えられたのである。



◆1才半児検診

- ▷と き 8月29日(火)午後1時30分までにお集りください。
- ▷と ころ 役場3階大会議室
- ▷対 象 児 52年2月生れの児

◆乳児検診

- ▷と き 9月5日(水)午後1時30分から2時30分まで
- ▷と ころ 役場3階大会議室
- ▷対 象 児 53年2月生れの児

◆離乳食教室

- ▷と き 9月6日(水)午後1時30分から
- ▷と ころ 巻町栄養指導センター(7区)
- ▷内 容 生後3か月から7か月頃までの離乳食について

♥献 血

- ▷と き 9月12日(火)午前9時半から正午まで巻保健所
 - 9月12日午後1時から3時まで公民館
- ゆうあい号(献血車)が来町します。
みなさんご協力をお願いいたします。

がん検診を受けましょう

町では、9月25日から「がん」検診を実施します。この検診を受けたおかげで何人かの命が救われています。年一回の検診を受けて自分の健康を確かめてください。

◆進んで胃がん検診を

胃がん発見の決め手は、検診しかないことを「きも」にめいじて健康なとき、定期的に検診を受けるようにしてください。特に40歳以上からは、がんの多発年齢になっています。

◆おそろしい子宮がん

初期の子宮がんは、症状がなく自分で気づかない場合が多いのです。症状がないときでも細胞検診ですと、がんを発見することができます。

子宮がんのできやすい30歳からの人は、年1回の健康診断を必ず受けてください。

◆胃がんの検診料は1人千円負担

胃がんの検診料は、1,900円ですが町で、900円助成しますので個人負担は1,000円になります。なお婦人検診は無料になっています。

◆申込み

地域の皆さんの健康を守るために活躍している区長さん、保健委員の皆さんに8月31日まで申込んでください。

外 科

- 3日 県立吉田病院 ☎ 吉田 ② 5111
- 10日 新潟中央病院 ☎ 新潟 ④ 4101
- 15日 伊藤医院 ☎ 吉田 ③ 3115
- 17日 県立吉田病院 ☎ 吉田 ② 5111
- 23日 桑原医院 ☎ ② 2221
- 24日 町立巻病院 ☎ ② 3111

9月休日救急病院

内 科

- 3日 古寺医院 ☎ ② 2016
- 10日 斎藤医院 ☎ ② 2056
- 15日 高木医院 ☎ ② 2208
- 17日 町立巻病院 ☎ ② 3111
- 23日 大越医院 ☎ ② 2707
- 24日 西川医院 ☎ ② 6066

8月の納税

町民税 第2期分
納期限 8月31日



55巻老人クラブ民謡部

代表 幸田久作

わたしたちの老人クラブに、民謡部ができたのは一昨年のことです。
わたしたち年寄りには、若い人とはなんとなく話がかみ合わないで

すし、出番のないまま孫のおもりなどで、無為に過ぎがちです。
そこで、こうした年寄りのストレス発散も兼ねて、民謡部ができたわけです。
部員は現在八十人で、男三人、女七十七人の「バアさん天下」です。練習は、毎月二回第一、第四月曜日の午後一時三十分から二時間、公民館ホールで行っています
踊りの好きな人たちはばかりですから、出席率もよく、なごやかな雰囲気の中で、巻甚句、やかたおけさ、桜音頭、庄内おぼこの曲に合わせて、一生懸命踊ります。
踊りは全身を使うため、健康増進に役立ち、部員の血色もすこぶる良く、この夏祭りでは、全員そ



ろいの着物をこしらえて、民謡流しに初参加しました。

連絡先 遠藤清似(十三区)

☎ ② 3644

作業停電

▽九月六日午前九時から午後二時まで、山島の全部、鑑潟の一部
▽九月十四日午前九時から正午まで、十三区の大部分

善 意

▼社会福祉に役立ててほしいと、巻中央自動車学校の職員のみなさんが五万円、横浜市の諸橋キヨ子さんが三万円、町へ寄付されました。
▼六・二六水害の見舞金として、吉田町の桜井武司さんが三万円を町へ寄付されました。